

小樽港北防波堤/小樽市



～120年以上荒波に耐える防波堤～

1897（明治30）年、波力公式「広井式」の考案者としても知られる小樽築港事務所初代所長の広井勇博士は、わが国初の本格的港湾整備となる小樽港北防波堤の建設に着手しました。

その構造は、石で作られたマウンドの上にコンクリート方塊を積み重ねた防波堤で、コンクリートブロックは水平に対し71度34分斜めに重なり合うように積み重ねられています。これにより工事中の先端ブロック脱落を防ぎ、捨石沈下に伴って隣接するブロック同士で噛み合わせが強くなり、局部的な波撃に対して応力を分散させることができます。この方塊は防波堤の延長方向に傾斜積みされていることから、「斜塊」と呼ばれました。

防波堤は打設後120年以上を経過した現在も、小樽港第一線防波堤としてその機能を果たしております。

住所 〒047-0048 小樽市高島1丁目2

公開状況 公開

アクセス
（自動車） 札幌から約41km 約35分
【札幌自動車道 小樽IC降 約12分】

アクセス
（公共交通機関） 札幌から約1時間
JR函館本線 小樽築港駅降車～徒歩13分

問い合わせ 北海道開発局小樽開発建設部 小樽港湾事務所
電話：0134-22-6131